

1 日頃の備えと大雨時の注意点

○日頃からの備え○

浸水被害を防止、軽減させるために日頃から備えましょう

◎**側溝や雨水ますをふさがないようにしましょう。**
◎**吸い込み口が落ち葉やごみで詰まると、裏面のマップで浸水が想定されていない区域でも浸水することがあります。**

雨水ます～
雨水ます！
雨水ます！
雨水ますをふさがない。

落ち葉やごみ
落ち葉やごみが詰まらないように清掃しましょう。

乗り入れブロックなどで雨水ますや側溝をふさがないようにしましょう。

◎大雨のときはお風呂等の大量の水を排水するのを控えましょう
大雨のときは下水道管が雨水でいっぱいになっているので、大量の水を下水に排水するのは控えましょう。

○大雨が降ってきたら○

浸水の発生の流れと皆さんのとるべき行動

●情報の種類・状況● ●皆さんの行動●

大雨注意報
大雨や洪水によって災害の起こるおそれのある状況

大雨洪水警報
大雨や洪水によって重大な災害の起こるおそれのある状況

避難準備情報
人的被害が発生する可能性が高まった段階

避難勧告
人的被害が発生する可能性が明らかに高まった段階

避難指示
人的被害が発生する可能性が非常に高まった段階

特別警報
数十年に一度しかないような非常に危険な状況

→下水道や水路などからの浸水の危険

- テレビ・ラジオ・横浜市庁などで気象情報に注意しましょう。
- 横浜市庁などで河川の状態を確認しましょう。
- 外の様子に注意しましょう。
 - ・道路の側溝やマンホールから大量の水が溢れる。
- 強い降雨が続いたり、道路の浸水が急に大きくなった場合は危険です。2階以上へ移動する等、安全な場所へ移動してください。

→河川はん濫の危険

- 避難行動に時間を要する方は、避難所等への避難行動を開始して下さい。
- 避難を支援する方も支援行動を開始して下さい。
- 通常の避難が出来ない方は避難準備を開始して下さい。
- 避難所などへの避難行動を開始して下さい。
- 浸水が始まっている場合は、無理に移動せず、近くの高いところなどの安全な場所に一時避難するなどの行動をとってください。
- 避難指示が発令後、避難中の方は、確実な避難行動を完了して下さい。
- 避難していない方は直ちに避難行動に移るか、浸水が始まっている場合は、無理に移動せず、近くの高いところなどの安全な場所に一時避難するなどの行動をとってください。

非常に強い雨が降ると
大雨が下水道などで排水できなくなり浸水が発生しはじめます。
さらに雨が降り続けると、河川の水位が上昇し、堤防が決壊する恐れがあります。
堤防が決壊すると多大な被害が発生します。
河川の急な増水時には、避難準備情報を経ずに避難勧告などを発令することがあります。

横浜市防災情報から雨量や河川水位の様子を確認！
<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/kikikanri/weather/top/>

横浜市防災情報の電子メール配信サービス
<http://www.bousai-mail.jp/yokohama/>
※電子メールの情報料は無料ですが、通信料は受信者の負担となります。

横浜市防災情報から雨量や河川水位の様子を確認！
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/kikikanri/weather/top/>

横浜市防災情報の電子メール配信サービス
<http://www.bousai-mail.jp/yokohama/>
※電子メールの情報料は無料ですが、通信料は受信者の負担となります。

※ 横浜市防災情報のホームページアドレスが変更になっています

正誤表に関する問い合わせ先
横浜市 環境創造局 下水道事業調整課
TEL：045-671-2840

誤

正